資料６－１











第5回 新産業等創出研究開発協議会
福島イノベーション・コースト構想推進機構の取組

2026年11月10日

公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

福島
イノベーション
コースト
構想推進機構

福島国際研究教育機構（F-REI）との連携

- **F-REI 、福島県との連携協定締結（2024.6.14）**

◆ F-REI、福島県及びイノベ機構が相互に協力し、福島県浜通り地域の復興・再生、福島や東北の創造的復興、日本創生の牽引に寄与するための研究開発・産業化、人材育成等の活動の充実、福島イノベーション・コースト構想を推進することを目的とし、連携協定を締結した。

◆ この協定により、以下の事項について連携、協力して実施する。

①研究開発に関すること　②研究開発の産業化に関すること

③人材育成に関すること　④情報発信に関すること

⑤その他の福島イノベーション・コースト構想の取組に関すること　など



F-REI研究開発の産業化に関する取組

- イノベ機構F-REI連携コーディネーターのサポートにより、F-REI研究者と県内企業との交流会を開催。
- F-REIエコ水素エネルギー材料・デバイス研究ユニットの内本ユニットリーダー、辻ユニットサブリーダー、酒井主任専門員と参加企業との間で、試作、製造等の可能性について意見交換が行われた。
- 参加した企業からは「将来的にF-REIとの連携に参画できれば」、「地域への貢献、地元・近場への発注に期待」といったF-REIへの期待の声が聞かれた。

日　時

令和８年１０月１５日（木）１４:００～１７:００

場　所

ビッグパレットふくしま

参加企業

6社（触媒、板材の加工・表面処理・接合、シール材）

主　催

福島県、F-REI、福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会水素分科会、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構





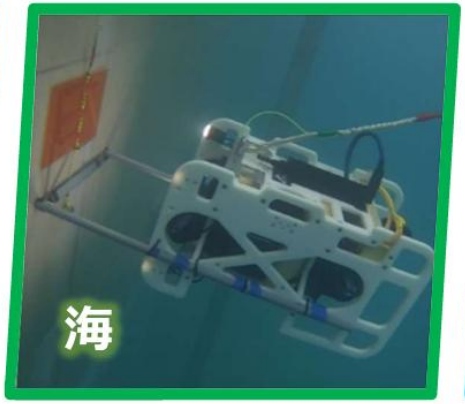




福島ロボットテストフィールド（ＲＴＦ）の管理運営

・令和７年４月１日にＲＴＦは福島県からＦ－ＲＥＩへ移管。
・イノベ機構は、Ｆ－ＲＥＩからの委託を受け、ＲＴＦの管理運営を実施。









所　有	福島国際研究教育機構（F-REI）
管理運営	(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構
立　地	南相馬市、浪江町
開　所	2020年3月31日　全面開所

世界に類を見ない一大開発実証拠点



公式キャラクター
ロデフィー



陸・海・空のフィールドロボットに対応する実証フィールド
東西1km、南北500mの広さ（約50ヘクタール）

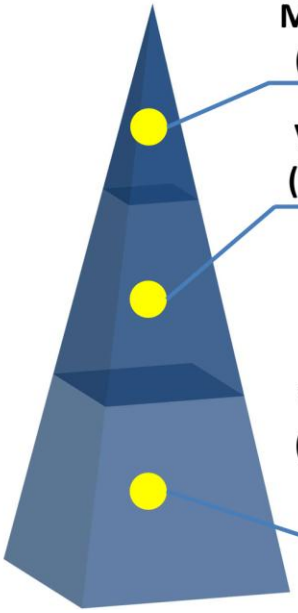
フィールド施設の使用件数

6,181件
（2025年度）

20室に大学やスタートアップ企業などが入居し活動中
（2026年3月時点）

浜通り等に新規進出した**ロボット関連事業者** **81社** （2026年3月時点）

■RTFのミッションと遂行に向けた取り組み



Mission (Why)
■福島県復興のため新たな産業基盤を構築する。 ＝イノベ構　想

Vision (What)
■ロボットの社会実装により、安全で豊かな社会の実現に貢献する

Value (How)
1．世界トップレベルのロボット実験環境/技術を提供し続ける
2．国内外のロボット研究開発、運用者の交流を促進する
3．ロボットの安全性確保、社会実装のための仕組みつくりに貢献する
4．ロボットに係る次世代の人材育成に貢献する

●広域・実運用環境整備　～ より実践的な実証に

・福島浜通りロボット実証区域(県により指定)における
ロボット・ドローン(無人航空機)による実証試験のサポートを実施
・これまでの実証件数は 477件（2015年8月～2026年9月）

「南相馬～浪江間13ｋｍ」の広域飛行環境整備

- 両拠点間の陸上ルート整備に向け、南相馬市及び浪江町とRTFとの連携体制強化に向けた調整を開始
- 私有地等の上空を含むドローン飛行に必要となる、地元関係者の理解醸成および合意形成に取り組み中
- 南相馬市・浪江町でのドローン飛行実証について、事業者による地域へのアプローチを実施するための支援を行う
- 複雑かつ多岐にわたるステークホルダーをつなぐハブ機能の確立を目指す







社会実装の仕組み作りに貢献

RTFを活用した各種ガイドライン整備を推進（Web公開）

該当ページはこちら→

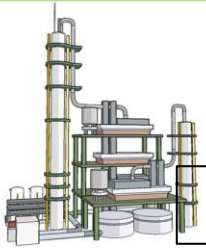



無人航空機の運航リスク評価ガイドライン（2022年12月）

ドローンサービスの提供に関するJIS制定（2024年8月）



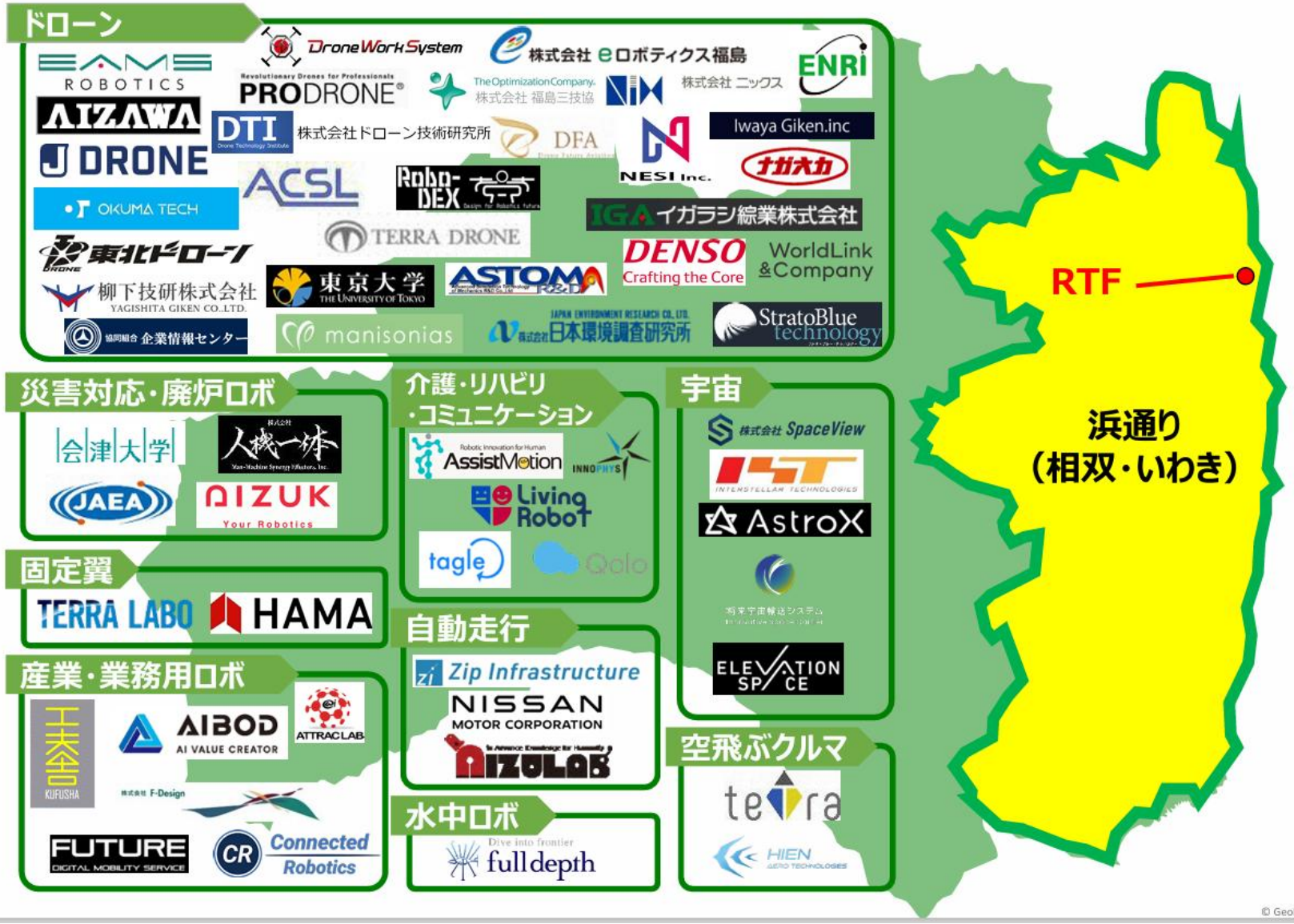
プラント点検等の運用ガイドライン・教育カリキュラム（2020年5月）





災害時における無人航空機活用のための航空運用調整等ガイドライン（2026年3月改訂、2022年4月初版発行）

- ＲＴＦはイノベ構想の中核拠点であり、**多数のロボット関連事業者が新規進出。**
- イノベ実用化補助金やFukushima Tech Create などの活用もあり、魅力的なスタートアップも進出しており、F-REIとの連携も期待される。



F-REIと地域との連携に関する取組

・イノベ機構は、県から委託を受け、Ｆ－ＲＥＩを核としたイノベ構想関係者との広域的なネットワークの形成や地域との連携促進を支援。
・イノベ機構のコーディネーターは、県と連携しながら、Ｆ－ＲＥＩの研究成果の産業化、人材育成、認知度向上等に資する取組を行う地域企業、団体、大学等からの相談対応や、連携支援を行う。

R8年度F-REI地域連携加速化事業

福島県 福島イノベーション・コースト構想推進課

1　事業の概要

F-REIの地域内での多様な主体との共創関係の構築と、F-REIの設置効果の広域的な波及のため、F-REIと地域との様々な形での連携促進に取り組む。

2　事業の内容

（1）F-REIの地域連携の加速化【補助事業】

地域の企業・団体等がF-REIと連携する取組に対して補助し、F-REIの活動に地域が参画した様々な連携を創出

- 補助対象者　F-REIと連携した取組を実施する企業・団体・大学
  ※県内市町村とも連携する取組が対象
- 対象事業　F-REIの研究成果の産業化、人材育成、認知度向上につながる取組、F-REI周辺の生活環境を充実させる取組
- 補助限度額　200万円/件
- 補助率　定額

（連携の一例）

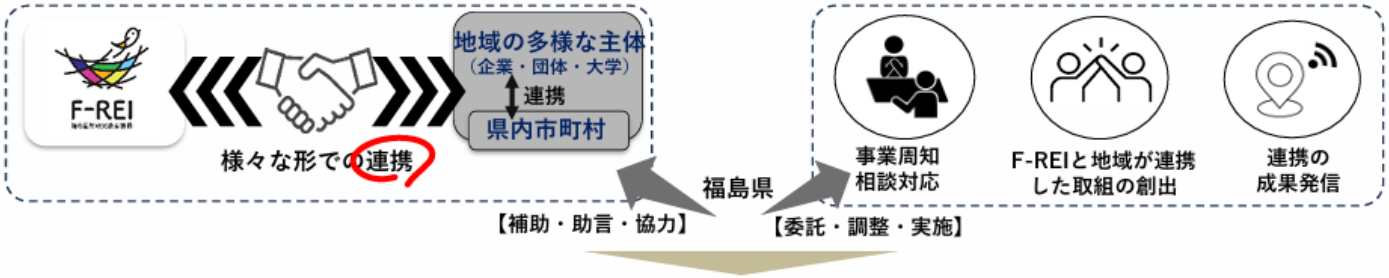
産学官連携による養成講座 × F-REI研究者の知見・技術 → 県内企業の技術力向上

生活の場における実証事業 × F-REI研究者の知見・技術 → 浜通り地域等の生活環境の向上

（※「市町村との連携」について）
・活動や実証の場の提供
・市町村所有の施設の活用
・市町村所管の産業団体、教育団体等のネットワークの活用
・周知広報での協力
・市町村の施策との連動
・市町村との連携協定等に基づく取組としての連携　等

（2）F-REIの地域連携の推進【委託事業】

事業周知、F-REIとの連携に関する相談対応、連携の成果の発信等



F-REIの地域内での研究開発活動等の促進、地域によるF-REIとの連携機運の醸成を図る

福島国際研究教育機構地域連携加速化事業【R8採択一覧】

テーマ	事業者名	事業概要（予定）	F-REIとの連携内容	連携市町村
産業化	公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会	地域企業の技術者等を対象とした講義やワークショップ、マッチングイベントにより、F-REIの研究成果と地域企業の共創を推進する。	F-REI研究者や職員等による講義	いわき市
人材育成	株式会社ゆめサポート南相馬	南相馬ロボット産業協議会加盟企業の若手技術者を対象とした技術講座を開催し、自律的ロボット開発を見据えた人材を育成する。（テクノアカデミー浜と連携）	F-REI分野担当による講義	南相馬市
人材育成	学園法人佐野学園	市町村勉強会等に参画しながら、多文化共生まちづくりの地域課題解決のための提案を行う。	外国人受入に関する勉強会対応、施設見学受入	楢葉町
認知度向上	株式会社いのちとぶんか社	浪江町において行うF-REI関係者とのトークセッション等により、音声媒体を通じてF-REIの取組発信を行うことで、F-REIの認知度向上を図る。	F-REI職員の出演、配信内容の助言	浪江町
認知度向上	新地アーバンデザインセンター	東京大学生や新地町内中学生等を介したF-REIの情報発信による地域連携機会の創出を図る。	関連施設見学受入、研究内容・人材育成に関する取組説明	新地町
認知度向上	一般社団法人地域おこし協力隊活動推進協会	乙な駅たまかわや福島空港等におけるF-REIの研究内容展示、F-REIラベルのクラフトビール等の開発を行う。	展示素材提供、商品製造に係るデザインの助言	玉川村
認知度向上	イガラシ綜業株式会社	浪江町周辺等の若者を主な対象に、ドローンボールを用いた交流イベントを実施する。	イベント周知・ブース出展	浪江町
周辺生活環境の充実	株式会社マスヒロ	F-REI職員等を対象に、F-REI事務所を起点とした先端モビリティの検証を行うことで、地域の利便性向上につなげる。	F-REI職員等の試乗、フィードバック	浪江町